

## 市老連より表彰

11月16日(火)宝塚ホテルにて「第52回宝塚市老人福祉大会」が開催されました。永年にわたり、老人クラブの育成と向上に向けて活動され、あすなる会から竹内洋次さん、すみれクラブから笹澤直義さんが個人表彰されました。

すみれクラブのみなさん

おめでとうございます。



竹内さん



笹澤さん



表彰式のあと、芸能大会にすみれクラブが手話コーラスで参加しました。

## 「進化」と「誤嚥」の面白い関係

江本歯科医院 院長 江本 元

私だけでしょうか、お酒を飲んだあととんこつラーメンが食べたいくなるのは…実はこれには壮大な進化の背景があるのかもしれない。ある研究報告によると、その昔ホモ・サピエンスは狩りが下手で、ハイエナたちとの残肉争いにも敗れ、最後に残された骨をしゃぶっていたのではないかとされています。サルと比べて小さな犬歯や太い親指などは、全て骨を割って骨髓をすするために進化したとのことです。なるほど…私もお酒を飲むと自分の中の太古のDNAがガタガタ揺さぶられ、骨髓のエキスを求めてとんこつラーメンを欲するのか…と妙に納得しました…



そんな本当か冗談かよくわからない話はさておき、ヒトの進化と誤嚥との間には深い関係があります。皆さんも気管に物が入ってむせて苦しい経験をしたことがあるかと思いますが、そもそもなぜヒトは誤嚥をするのでしょうか。ヒトの喉には空気と食べものが交差する「喉頭」と呼ばれるポイントがあり、致命的な問題を生じやすいことから別名「魔の交差点」とも呼ばれています。喉頭では一日1000回以上も空気と食べ物の振り分け作業が行われていますが、加齢とともに飲み込み機能が低下してくると、この振り分け作業に失敗し、食べ物やお口の細菌を肺に落とし込んでしまいます。こうして「誤嚥性肺炎」は生じます。この肺炎は要介護者の死因の第一位です。

興味深いことにヒトには「魔の交差点」がありますが、サルにはありません。なぜ進化したはずのヒトが深刻な問題を抱える様になってしまったのでしょうか。ヒトが命の危険と引き換えに得たものの、実はそれが「言葉」だったのです。という訳で、我々人類は進化の過程でリスクを冒しました。歯科の観点から皆さんにリスク回避の方法を2つご紹介したいと思います。

その① お口をいつもキレイに保つこと。

その② 自分の歯であろうが入れ歯だろうが関係なく、しっかり噛んで飲み込めるように日頃から歯のメンテナンスをしておくこと。

これらは言葉を享受した我々人類の宿命です。頑張ってください！